

時期	未来年表	コメント	主な写真
H29年 28年度	北方幼稚園 地元意見聴取	民営化やこども園への移転など課題	
	市営住宅(小原・高野)移転先発表	北方町の市営2住宅を統合し、中心部に移転	
	松原交差点の改良完成	元親和銀行前を改良し、県事業終了	
	杵藤クリーンセンター解体	建物は解体するが水処理は続けられる	
	こども図書館完成(10月)	課題の駐車場は案内板で、本館連結は未定「噴水を！」	
	市営大野住宅 解体→建設<16戸>	団地型でなく木造2階建てに	
H30年 29年度	武雄バイパス 完成(出口の変更)	今後、眼鏡市場前の逆Z形改良必要	
	武雄北部区画整理完成(約20年間)	小楠のしんきん辺りが終われば完成	
	若木バイパス 完成	次の工事区間が朝日町なのか注目される	
	女山トンネル 完成	若木から多久ICへの道で、くねっていた	
	国保会計県・統合(4月)	事務効率化で保険料が低下を期待	
	市議会議員選挙	定数24→20に	
H30年 30年度	市役所新庁舎へ移転(5月)	連休明けに移動 現庁舎は解体へ	
	杵藤消防本部・武雄署移転	新武雄病院東側に建設中 2F武雄署 3F本部	
	北方統合住宅完成	行革で、民間活用の型、1号の可能性も	

栄八通信

武雄市議会だより

(Web版) 始めました

<http://ei-8.info/>

第67号

H29年①4710月発行



武雄市議会議員
宮本 栄八
TEL・FAX 23-0750
携帯 090-5083-0793

新春の方針

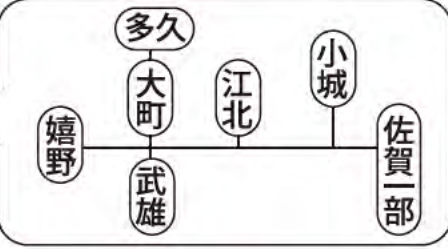


1 議員活動は日々の調査と
具体的提案で実現します。

3 しろは白、くろは黒、そんな
当たり前の事を大切にします。

2 皆様からの税金を大切に使う
政治を目指します。(ワイスペンディング)

- 31年度** 公共下水道(北・西)エリア完成
- 西部広水に武雄市水道 統合
- 32年度** みふね小 花まる学習で全市統一
- 33年度** 杵藤葬祭場改築
- 34年度** 長崎新幹線開業
(リレー・フリーゲージ車?)



花まる学習スケジュール

H27	H28	H29	H30	H32
武内小 東川登	若木 朝日	西川登	山内東 山内西 武雄	みふね

※宮本が作成したもので公式なものではありません

行革プランと手数料・ゴミ袋値上げ

昨年秋に、H28年～H32年の第2期目の行革プランが示された。その取り組みをH29年度からする動きの一貫と思われる。

【料金値上げ】

第一期の前10年間に値上げが未実施だった。具体的には、住民票が200円→300円に値上げする方針だが、他市はほぼ300円の状況やゴミ袋も県内、1L当り1円が平均で今の市のゴミ袋35L30円が5円程度上がるという推測できるが、やむをえない値上げと思われる。

【行革プランのポイント】

合併パブルの状況から、普通の財政に戻る時期にあたる。特別債H28年～32年の86億円は庁舎・こども図書館・学校改築で予定済み。一方、合併支援措置と言って旧市町の時の交付税を減らす10年貫っていたが、5年間段階的に減らされて、H32年には、H28年度と比較して年7億円少なくなる。

財源対策 (H28年～32年度)

取組内容	目標金額
歳入確保目標総額	6.1億円
- 税収の増加	0.3億円
- 使用料・手数料の見直し	1.2億円
- 資産の売却等	3.6億円
- 他会計繰入金(競輪)	1.0億円
歳出抑制目標総額	(▲)13.9億円
- 人件費の削減	(▲)8.3億円
- 行政経費の削減	(▲)1.2億円
- 事務事業の見直し	(▲)4.4億円
目標額総額	20.0億円

アセットマネジメント 40年で30%減築に

庁舎・こども図書館は、合併特例債の活用で進む。一方、文化体育館やスポーツセンター改築は止まっている。市は、アセットマネジメント計画(公共施設等総合管理計画)を立てて対応する意向。今回、その概要が判った。

今後40年間の更新の費用が115.5億円で、投資に充てられる金額が、76.0億円で、差し引くと▲39.5億円で、率で34%不足。

一方、H27～H67の40年で現在の約5万人が3万2千人に約32%減少する。

そこで、40年間で、人口も約30%減るし、更新費も30%不足するので、新たに改築した時は、面積を30%少なくすれば、成り立つ計算。

これを、近い目標として10年間で8%減築を掲げている。そうすれば、さっそく文化体育館の具体化を望む。

新競輪場のナイターの状況

新行革プランは、競輪からの年1億円の繰り入れが明記してある。新競輪場の建設費17億円の内7億円は基金より出し、10億円を県の貸付金や水道会計から借り1億円を10年間で返済する。

改修前は、年1億円の利益があり、それで返済はできる見込み。ただ、一般会計に、年1億円出すとなれば、これまでなかったナイター関係で収入を上げる必要がある。

◎ナイター競輪 通常昼に行っているレースの一部を夕方にするが12月の実績は昼の5倍になった。

◎ミッドナイト競輪 これは、夜10時ごろ、無観客でインターネットのみの販売だが、12月に約5億円を売り上げた。25%が収益だが、オッズパークなどのネット業者が売った分の13%も取る契約になっている。率の低減か、または、独自のポータル構築が課題になる。

SL公園に新遊具

年末に嬉しい光景が目に入った。武雄温泉駅近くのSL公園に何十年ぶりに、新しい色あざやかな遊具が導入されていた。聞くと「シューティングスター」128万円で、以前の大ステンレスすべり台を交換したとの話。

公園の遊具は、都市計画課が業者に点検を年一回発注し、AとDで報告を受ける。今回Cランクと判断され、福祉課が修理と新設を判断し、交換したと言った。

SL公園前で、父と娘が今度遊びに来ようという声も聞いた。

そこで、市の公園整備も時間がかりそうなる状況の中、遊具が100万円程度なら、工事の入札減などの残額でも多く交換できるので、その方が早いし、各団体が近年40～50周年を迎えるので、寄贈してもらおう方法も有効では。一方、北方四季の丘の遊具もCランクがあるそう、新遊具の導入も期待。

こどもの医療費窓口無料化へ

県内のほぼ全部の市町が、少子化対策のためか、小・中学生の医療費の自己負担を自治体が支払い無料化している。(ただし月や病院ごとの1000円負担有り)

基本、良い制度なのだが、問題点もあり、私も前から改善を提案していたが、親などが、病院で一度支払い、その後市に請求手続きをして次月に口座に振込まれる複雑な仕組みの改善だった。

改善できない理由とされていたのが、かかる病院等が市内と限らないので、県内で統一して行えないとの理由。また、裏理由として、病院等の窓口で無料化になれば、手続きが要らず、利用者が急増し市の負担増大の心配もあったと感じていた。ともあれ、今回、県が動いたように窓口無料化が実現した。次の課題は、嬉野市のような18才までの無料化の拡大。

大楠公園の借景と若木バイパス

国道498号線は、伊万里―鹿島の県内を南北に縦断する路線。現在、伊万里市の方から、大坪バイパス↓松浦バイパス↓現在、若木バイパスを工事中でいよいよ完成が近づく。一方、前市長が大楠でイベントを数年前に力を入れていた時期に、整備ルートが決まっていた。私は大楠の前は借景的に良くないと思い、工業団地側を提案していたが、結局、大楠の方に決定。ただ、元議員さんが、当時、県の土木事務所が工事にあたり何らかの配慮をしてくれるとの報告を聞き、これまで安心して来た。完成近い今、再度、県に配慮をどう具体化するか尋ねたが、配慮の申し送りが、計画も無かった。

私は、ガードレールを緑に塗るとか、目隠しに木を植えれば、1日1万台と言われる車の交通も、あまり金をかけずに景観が保持できると思い、市に実現を提案。

一方、市の答えは、特に景観的に問題とっていない。逆にバイパスから、八幡岳と大楠が見れて新たな観光スポットになるような話。

ただ、大楠と言えども、城のように石垣に立つわけでなく、見下す形で感動するのかわ?

今議会、高齢者の車の運転が多くなり上げられたが、バイパスからの「わき見」観光で良いのか? 本気なら、展望所の整備が必要。



こども図書館は中身が大切では

今議会、キッズライブラリーから、子育てセンターと変化して来たが、正式に「こども図書館」と決定。ただ、「武雄市図書館・歴史資料館」のくりに、①本館②こども図書館となっていて、それなら、「こども館」とすべきと思っただ、ここは賛成した。

もともと、私が関心があるのはこども図書館の名前や建物でなく、中身がどうなるかと言う事。

見方では、図書館の子どもコーナーの一部がスタバのコーヒーエリアに変わり、不満が高まっているので子どもコーナーを外に出す為に計画されたので、施設の内容が後回しで進んでいるという人もいます。

とにかく、私も以前より、小松市長の言う「雨の日にも親子で遊べる場所」の必要性は言うて来たので期待はしている。

求償権の行使に賛成の理由

佐賀地裁が、樋渡前市長の谷口議員に対する名誉毀損の判決が確定した。それは、2案件あり、樋渡氏の個人のインターネットのブログの分は、削除と賠償金が支払われている。

一方、議会の一般質問での発言についても違法と認定され、36万2483円となっていた。

その支払いは、議会の答弁という公務中との理由で、武雄市が支払っている。

今回、市民の方が、「求償権の行使を求める決議」の採択を求める請願が出された。これは、市が支払った約36万円には、市税を使わず、樋渡氏個人に請求して欲しいとの請願。理由は、公務であつても、故意や重大な過失の場合、原因者に請求できる国家賠償法。私も、議場で、十数回も言うのは故意の名誉棄損に当たると思い、求償権行使に賛成した。

新幹線フリーゲージ今6月に結論に

H28年の11月に、評価委員会が、①車軸の摩耗 ②台車の横揺れ ③維持管理費が3倍と悪い評価。(再検証を12月3日より走行開始)

今後のスケジュールとして、今H29年6月に、フリーゲージトレイン(FGT)の技術的な結果を出す。

もう一方、注目すべきは、FGTの「採算面も含めて」、導入計画を続けるのかの判断をする追加文。

やはり、私が以前から言う、博多―長崎間の所要時間がFGTが1時間20分で、武雄でのリレー方式でも1時間26分で、6分とトイレに行くぐらいの差しかなく、わざわざ、新幹線料金を払って利用するのの疑問がある。

一方、肥前山口―武雄の複線化工事は、昨年12月に朝日町、北方町で説明会があった。新線は、ほぼ、現線の敷地内の南側にロングレールで整備される。